

$$p_g C_1 = p_g \quad \text{--- (1)}$$

$$p_g C_p = \frac{(p_g)!}{\{p(g-1)\}! p!} \quad \text{--- (2)}$$

1から p_g まで、素因数 p を持つものは、 $p, 2p, \dots, p_g$ であるから、

$$(p_g)! \text{ を素因数分解すると } a_1^{\alpha_1} a_2^{\alpha_2} \dots a_k^{\alpha_k} p^N \text{ と書ける --- (3)}$$

* a_1, a_2, \dots, a_k は p 以外の相異なる素数、 $\alpha_1, \alpha_2, \dots, \alpha_k, N$ は自然数

1から $p(g-1)$ まで、素因数 p を持つものは、 $p, 2p, \dots, (g-1)p$ であるから

$$\{p(g-1)\}! \text{ を素因数分解すると } b_1^{\beta_1} b_2^{\beta_2} \dots b_r^{\beta_r} p^{N-1} \text{ と書ける --- (4)}$$

* b_1, b_2, \dots, b_r は p 以外の相異なる素数、 $\beta_1, \beta_2, \dots, \beta_r$ は自然数

$$p! \text{ を素因数分解すると } c_1^{\gamma_1} c_2^{\gamma_2} \dots c_m^{\gamma_m} p \text{ と書ける --- (5)}$$

* c_1, c_2, \dots, c_m は p 以外の相異なる素数、 $\gamma_1, \gamma_2, \dots, \gamma_m$ は自然数

$$\text{(2)(3)(4)(5)より、} p_g C_p \text{ は素因数 } p \text{ を持たない。 --- (6)}$$

$$\text{同様に、} p_g C_g \text{ は素因数 } g \text{ を持たない。 --- (7)}$$

(1)(6)(7)より題意は示された。